

2018年7月6日
(改定日：2018年7月19日)

お客様各位

株式会社セゾン情報システムズ
HULFT 事業部

HULFT for Mainframe と HULFT8 間の通信で発生する修正済みの問題について

HULFT for Mainframe にて以下の事象が判明したため、ご報告申し上げます。内容をご確認いただき、ご対応をお願いいたします。

－ 記 －

1. 発生事象

・ HULFT 同士で転送する場合

配信側が Mainframe 版以外であり、かつ配信側が HULFT Ver. 8 以上、集信側が HULFT for Mainframe Ver. 7. 3. 1 未満の転送では、以下のいずれかの事象が発生する場合があります。

- ① 配信側の HULFT において、メモリアクセス例外が発生し、転送が失敗する。
- ② 配信側の HULFT において、タイムアウト時間経過後にメモリアクセス例外が発生し、転送が失敗する。
- ③ 配信側の HULFT において、HULFT からの接続として認識できずに不正な電文として処理され転送が失敗する。

・ HULFT-HUB 経由で転送する場合

配信側が HULFT Ver. 8 以上、集信側が HULFT for Mainframe Ver. 7. 3. 1 未満で、HULFT-HUB Ver. 3. 5. 0 以上を経由する転送では、以下のいずれかの事象が発生する場合があります。

- ① HULFT-HUB において、メモリアクセス例外が発生し、転送が失敗する。
- ② HULFT-HUB において、タイムアウト時間経過後にメモリアクセス例外が発生し、転送が失敗する。
- ③ HULFT-HUB において、集信側 HULFT からの接続として認識できずに不正な電文として処理され転送が失敗する。

※メモリアクセス例外により、HULFT-HUB Server が異常終了する場合があります。

2. 発生原因

本事象は、HULFT8 で追加された電文内容に対し、HULFT for Mainframe 側が解釈を正確に行うことが出来ず、メモリ操作を誤ることが原因で発生します。

HULFT8 から追加された動作として、相手側 HULFT に対し初回の通信で「バージョン確認のための電文」を送信し、相手側が HULFT8 かそれ以下のバージョンかの確認を行います。

HULFT for Mainframe が HULFT8 から送信された「バージョン確認のための電文」に返答するロジックにおいて、メモリの参照範囲の誤りを起因として不正な電文を送信する場合があります。

不正な電文の内容は HULFT for Mainframe 側のメモリ内容に依存するため、「1. 発生事象」に記載した事象のどれかが発生する場合があります。

なお、HULFT8 の Mainframe 版では本件の事象は発生しません。

3. 障害発生件数

HULFT8リリース(2014/12/08)以降、当該事象のお問合せ件数は2件です。

4. 発生条件

HULFT 同士で転送する場合と HULFT-HUB 経由で転送する場合で発生条件が異なります。それぞれの条件をすべて満して、かつ「5. 対象製品・バージョン」に記載されている HULFT へ転送すると発生する場合があります。

◆HULFT 同士で転送する場合（下記 3 点をすべて満たすと発生）

- ・ 配信側が HULFT8 である。
- ・ 配信側は HULFT8 for MSP / HULFT8 for XSP / HULFT8 for zOS でない。
- ・ 配信側 HULFT で設定する、「5. 対象製品・バージョン」に含まれる HULFT の「詳細ホスト情報」の「HULFT7 通信モード」が“無効”。

◆HULFT-HUB 経由で転送する場合（下記 3 点をすべて満たすと発生）

- ・ 配信側が HULFT8 である。
- ・ HULFT-HUB Server のバージョンが以下のいずれかであり、配信側 HULFT8 の転送が HULFT-HUB を経由する場合。
 - HULFT-HUB Server for UNIX Ver. 3.5.0 以上
 - HULFT-HUB Server for Linux Ver. 3.5.0 以上
- ・ 配信側 HULFT で設定する、「5. 対象製品・バージョン」に含まれる HULFT の「詳細ホスト情報」の「HULFT7 通信モード」が“無効”。

5. 対象製品・バージョン

- ・ HULFT7
 - HULFT7 for MSP Ver. 7.0.1~Ver. 7.3.0B
 - HULFT7 for XSP Ver. 7.0.1~Ver. 7.3.0B
 - HULFT7 for zOS Ver. 7.0.0~Ver. 7.3.0B
- ・ HULFT6
 - HULFT for Mainframe MSP Ver. 6.0.1~Ver. 6.3.4
 - HULFT for Mainframe XSP Ver. 6.0.2~Ver. 6.3.4
 - HULFT for Mainframe OS390 Ver. 6.0.0~Ver. 6.3.4
 - HULFT for Mainframe VOS Ver. 6.0.1~Ver. 6.3.3B
- ・ HULFT6e
 - HULFT for Mainframe OS390-E Ver. 6.0.3~Ver. 6.3.4
- ・ HULFT-SAN
 - HULFT-SAN for Mainframe MSP Ver. 6.0.5~Ver. 6.3.4
 - HULFT-SAN for Mainframe XSP Ver. 6.0.5~Ver. 6.3.4
 - HULFT-SAN for Mainframe OS390 Ver. 6.0.5~Ver. 6.3.4
 - HULFT-SAN for Mainframe VOS Ver. 6.0.5~Ver. 6.3.3B

6. 本不具合の対応について

HULFT8 側の管理情報で設定する、通信相手の「詳細ホスト情報」で、「HULFT7 通信モード」の設定を“有効”に設定してください。

発生原因で記載した初回の「バージョン確認のための電文」を送出する動作を回避できるため、本障害は発生しません。

なお、HULFT7 以下と HULFT8 との通信において、「HULFT7 通信モード」の“有効”、“無効”、の設定違いによる機能的な制限および非互換はありません。

また、HULFT for Mainframe 側（集信側）の対応として、以下のバージョンで本不具合のコード修正を実施しております。万が一 HULFT8 側の設定変更が困難な場合は、HULFT for Mainframe 側のリビジョンアップ、バージョンアップをご検討願います。

- HULFT8
 - HULFT8 for MSP Ver. 8.2.0 以上
 - HULFT8 for XSP Ver. 8.2.0 以上
 - HULFT8 for zOS Ver. 8.1.0 以上

- HULFT7
 - HULFT7 for MSP Ver. 7.3.1A 以上 ※
 - HULFT7 for XSP Ver. 7.3.1A 以上 ※
 - HULFT7 for zOS Ver. 7.3.1A 以上 ※

※ Ver. 7.3.1 にて当該問題を修正しましたが、本件とは別の問題で緊急修正を行っているため、Ver. 7.3.1A 以上へのリビジョンアップ、バージョンアップを推奨しております。修正の詳細はリリース文書をご参照ください。

製品リリース文書、最新版マニュアルや製品モジュールを入手する場合は、弊社技術サポートサービス専用サイトおよびダウンロードサイト（myHULFT）よりダウンロードをお願いいたします。

※ 各種ダウンロードは、サポート契約の締結が必要となります。

以上

【改訂履歴】

2018年7月6日	初版
2018年7月19日	<ul style="list-style-type: none">・タイトルを更新・HULFT8 Mainframe 版で本事象が発生しないことを追記・HULFT-HUB で本障害の発生バージョンを「Ver.3.4.0 以上」から「Ver.3.5.0 以上」へ修正・「1.発生事象」の表現を改善・「4.発生条件」の表現を改善・「5.対象製品・バージョン」に VOS 版製品を追記・「6.本不具合の対応について」で Ver.7.3.1A 以上へのリビジョンアップ、バージョンアップを推奨する理由を追記・その他表現の改善